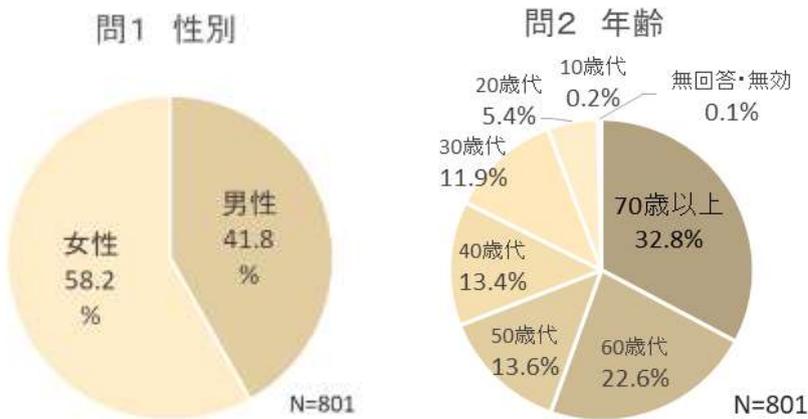


市民意向調査結果概要書

調査対象	18歳以上の市民2,000人（無作為抽出）
調査期間	令和元年6月15日～6月28日
配布・回収方法	郵送配布・郵送回収
回収結果	回収票 801票（回収率 40.1%）

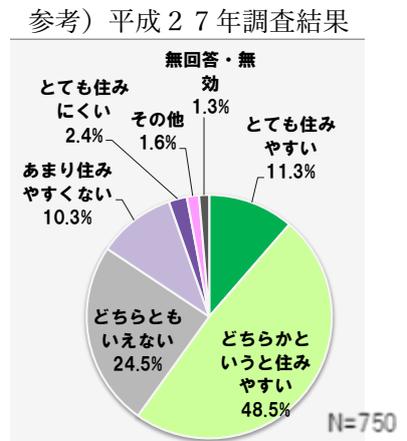
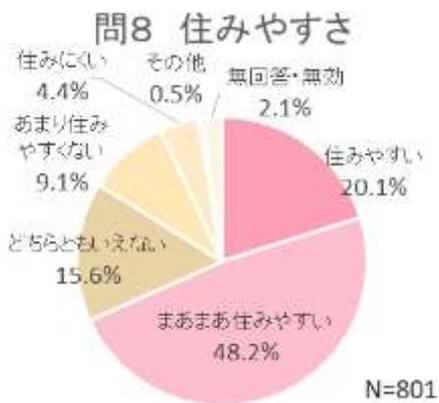
回答者属性

回答者の約6割が女性、約4割が男性
 年齢別では、70歳代以上（32.8%）、60歳代（22.6%）、50歳代（13.6%）で全体の約7割



(1) 本市の住みやすさ

住みやすい、まあまあ住みやすいを合わせて68.3%（前回調査比8.5ポイント増）
 住みにくい、あまり住みやすくないを合わせて13.5%（同0.8ポイント増）



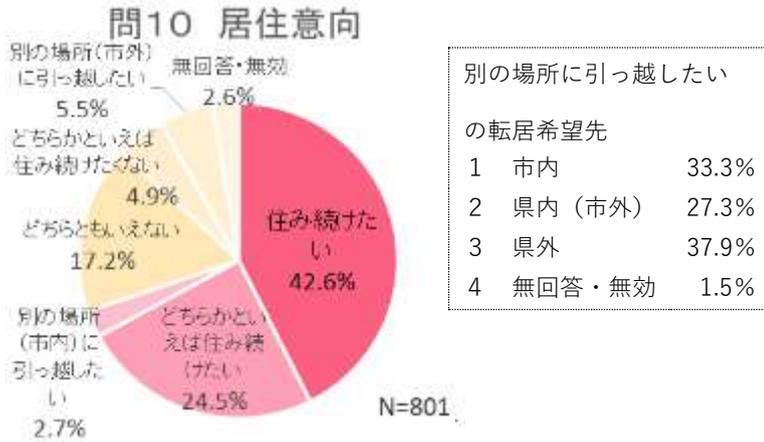
住みやすい理由上位3	住みにくい理由上位3
1 自然環境に恵まれている	1 自然条件が厳しい（積雪など）
2 買い物などの日常生活が便利である	2 交通の便が悪い
3 人間関係が良好である	3 余暇や娯楽を楽しむ機会が少ない

(2) これからも住み続けたいか

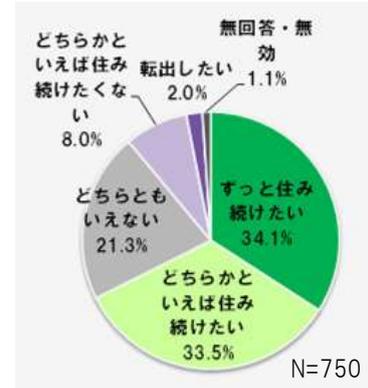
住み続けたい、どちらかといえば住み続けたい及び別の場所(市内)に引っ越したいを合わせて 69.8%

(前回調査比 2.2 ポイント増)

どちらかといえば住み続けたくない、別の場所に引っ越したいを合わせて 13.1% (同 3.1 ポイント増)



参考) 平成27年調査結果



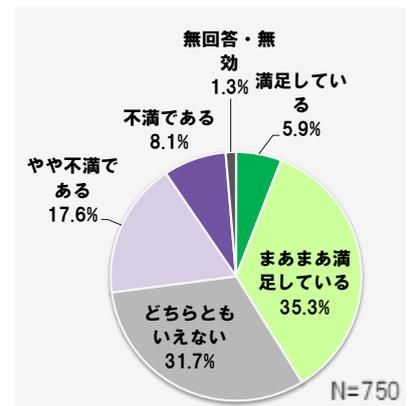
(3) 行政全体に対する満足度

満足している、まあまあ満足しているを合わせて 48.3% (前回調査比 7.1 ポイント増)

不満である、やや不満であるを合わせて 16.3% (同 9.4 ポイント減)



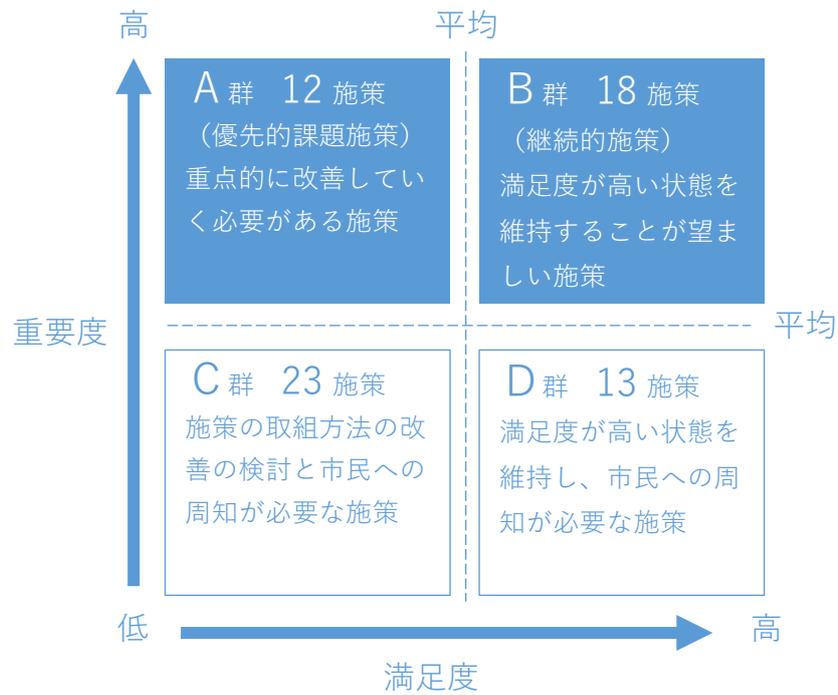
参考) 平成27年調査結果



(4) 行政サービスの重要度・満足度分析

A群(優先的課題施策)には、満足度低位から順に「地域公共交通の確保」、「雇用機会の創出」、「安全・安心な住環境の整備」が並ぶ。

B群(継続的施策)には、満足度が高い順に「上下水道の整備促進」、「自然災害に備えた地域防災体制の充実」、「食農・食育の充実」が並ぶ。

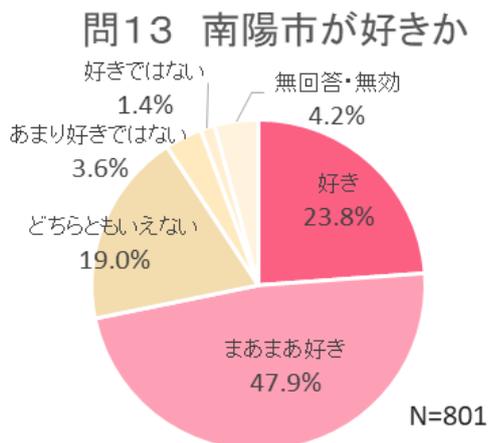


A群 低位5施策	満足度
1 地域公共交通の確保	-29.24
2 雇用機会の創出	-21.59
3 安全・安心な住環境の整備	-21.37
4 雨・雪に強い地域づくり	-19.74
5 最先端の技術移転の促進	-19.13

B群 上位5施策	満足度
1 上下水道の整備	23.49
2 自然災害に備えた地域防災体制の充実	18.61
3 食農・食育の充実	18.28
4 小・中学校等の教育環境の整備	17.91
5 河川・砂防事業の促進	17.50

(5) 南陽市が好きか

好き、まあまあ好きを合わせて 71.7%
 あまり好きではない、好きではないを合わせて 5%



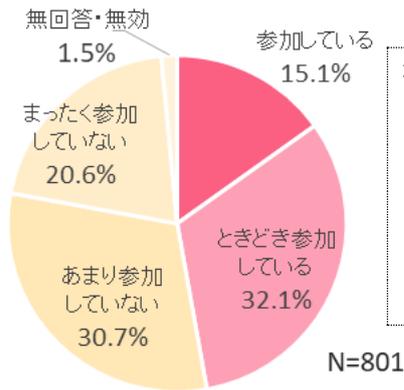
(6) まちづくりや地域活動への参加

地域活動に参加している、時々参加しているを合わせて 47.2%

まったく参加していない、あまり参加していないを合わせて 51.3%

将来は参加したい、ある程度は参加したい、機会があれば参加したいを合わせて 73.7%

問17 地域活動等への参加

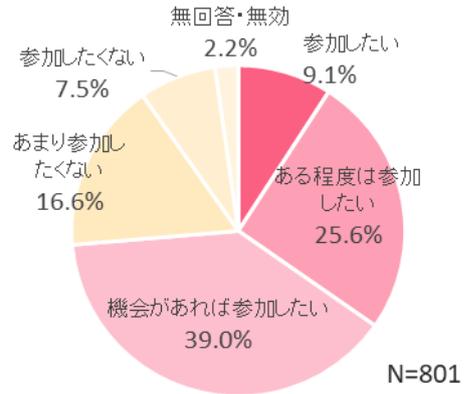


地域活動等の参加条件上位 5

- 1 時間や気持ちのゆとり
- 2 気軽に参加できる仕組み
- 3 負担にならない人間関係
- 4 地域活動への関心
- 5 友好的で楽しい雰囲気

N=801

問18 将来の地域活動等への参加意向

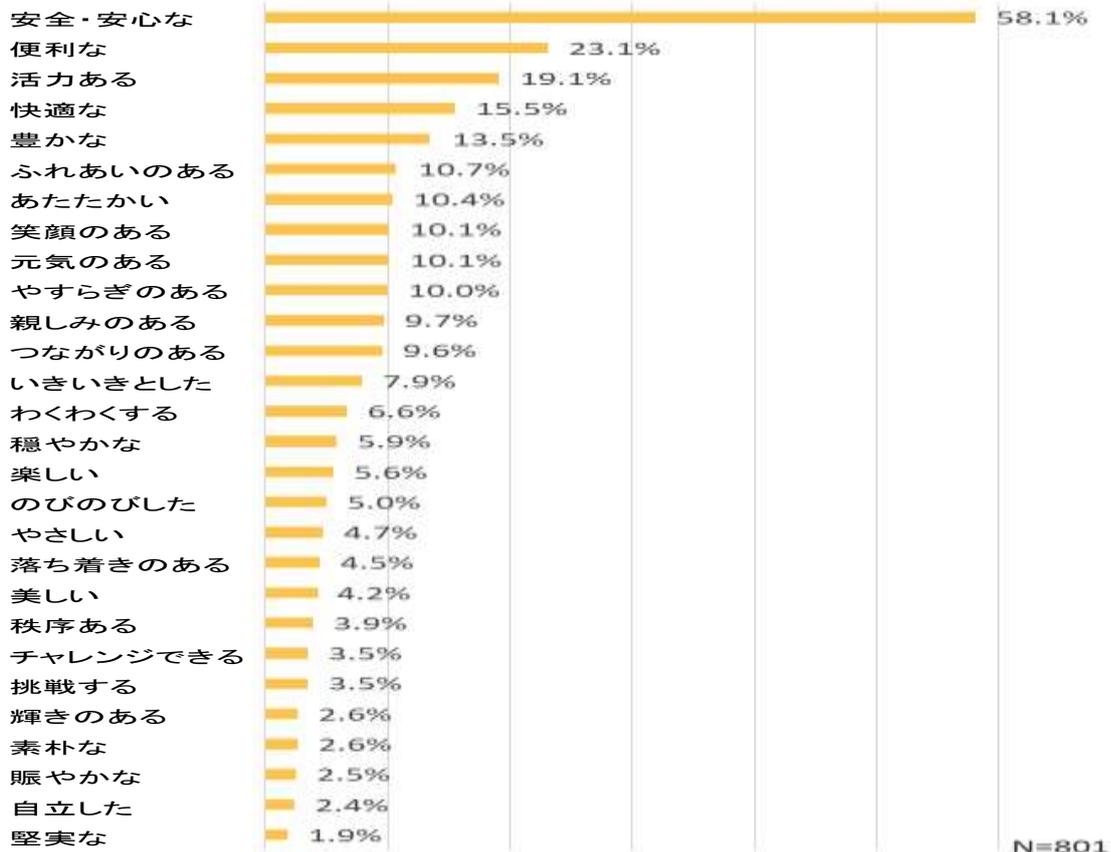


N=801

(7) 将来の南陽市のイメージ

「安全・安心な」、「便利な」、「活力ある」、「快適な」が上位に並ぶ。

問20 将来の市のイメージ



N=801